

ふくたんちょっこりニュース 2018年 師走号

No.28
2018年 12月25日
富山福祉短期大学 社会福祉学科
(Tel 0766-55-5567)

【制作・編集】
社会福祉学科社会福祉専攻
鷹西 恒
E-mail : htct@te.urayama.ac.jp

『クッキングちょっこり』

ふくたん 地域サポートプログラム
『プーさんカレーをつくろう』 テーマ~チームワーク~



『クッキングちょっこり in南砺市』を行ないました

日時：平成30年12月16日（日）10：00～14：30

場所：旅川福祉交流館（南砺市）

参加者：地域の障がい者、事業所、行政職員、高校生（22名）
本学の学生8名&教員1名、卒業生1名

この活動は、富山福祉短期大学教員の鷹西恒（社会福祉学科）と学生、小矢部市、砺波市、南砺市、福祉事業所等が連携して障がいや様々なハンディーキャップのある人どうしが、地域の中で自立し楽しく幸せに暮らせることを目的として実施したものです。

今回は地域貢献活動の推進のために立ち上げた地域活動支援サークル「ちょっこりNEO」のメンバーがリーダーとなり実施しました。

活動にあたり「社会福祉法人手をつなぐとなみ野 福祉作業所エルハート城端」様より人参・じゃがいもを無償で提供いただきました。厚く御礼申し上げます。



今回は砺波地域自立支援協議会当事者委員会とのコラボ企画として、『プーさんカレーをつくろう!』を行いました。予め決めてあったグループに分かれてリーダーの野崎さん（社会福祉専攻2年）の説明&流れを聞いてから、カレーの豪華トッピング&デザート争奪戦ゲームを行いました。最初は老田さん（社会福祉専攻1年）担当のアイスブレイクです。「京都のお寺と言えば?」等の質問にイメージするものを紙に書いて、同じ答えが多いほど得点が入るゲームで盛り上がりました。続いては豪華トッピング争奪戦クイズです。事前にジャンル等を書いた分担表を渡して解答者を決める方式で行いました。問題がわからない、手伝ってほしいことがある等の解答者は「合理的配慮」と宣言して「GOカード」を掲げ、グループメンバー1名にヘルプできる仕組みです。最初から宣言する人もいて皆大笑いでした。（1位はロースカツ）次はいよいよプーさんカレーづくりです。協力しながら肉、野菜を切ったり、型抜きをしたり、にぎやかな雰囲気でした。ターメリックライスにイカ墨パスタで顔をつくる作業では皆真剣な様子。サラダは大根ときゅうりの梅肉和えて、下味にプーさんの大好きな蜂蜜も入れるこだわりようです。最後にクイズの戦果であるトッピングを乗せてみんなで食べました。デザートタイムではアイスブレイクの1位グループから袋の上書いてあるヒントから選ぶ方式です。「ドイツのお菓子」の袋を選んだチームはバウムクーヘンで、これに珈琲か紅茶を選んで楽しむことができました。最後までワクワクと笑顔が絶えない楽しい企画となりました。

